大阪ミモザカフェ第1回：開催経緯、開催方法についての話し合い

8月26日午後、オンライン（Zoom）にて、大阪ミモザカフェを行いました。主催者は2022年に青森から大阪に移りましたが、女性研究者・技術者委員会での活動をメインに行い支部活動には参加できておりませんでした。ぼちぼち大阪や関西方面の方々ともつながれたらと思いつつ、面識のある方もあまりいないなかでいきなり対面での実施は難しいかもと考え、オンラインでの開催を agora（大阪支部のメーリングリスト）で呼びかけてみました。

ご参加くださった方は主催者を含め3人で多くなかったのですが、3人で話しているうちに今後も続けて何かできそうという気持ちになってきました。ひとまず、月一回の Zoom 開催し（25日固定、時間はホストが設定）、おしゃべりしながら交流を深め、おいおい参加者のペースに合わせて開催頻度や方法を再検討し、対面企画も考えていければと考えています。

ちなみに、ミモザは、女性研究者・技術者委員会で運用している女性研究者・技術者交流メーリングリスト（愛称：ミモザメーリングリスト）からつけました。こちらへは女性研究者・技術者委員会 HP (<https://jsawresearcheng.wixsite.com/website/mimozam>) よりご参加できます。ちなみに、ミモザは3月8日の国際女性デー（ミモザの日）で女性に贈られるシンボリックな花です。

さて、第1回の内容ですが、お互いはじめましての自己紹介や、その内容に触発されたあれこれ話しているうちに、あっという間に時間が経過しました。以下、箇条書きでざっくり紹介します。

- ・参加者自己紹介（研究テーマや JSA に加入した経緯など）
- ・大阪では女性会員の交流、ジェンダーについての取り組みは弱かった。かつては旧事務所内でお茶会したこともあった。
- ・日常的な“話し相手”がない、研究関心、社会への問題意識、経験…さまざまなことを共有する相手が少ない。そういったことを気楽におしゃべりができる場があれば。
- ・健康にかんするもろもろ情報交換
- ・JSA/大阪ミモザカフェへのお誘い（高齢化している、定年退職直後の人を勧誘してみる？、声をかけられる院生がない、agora で呼びかけるだけでなく大阪周辺の方に個別に呼びかけてみる）
- ・テーマを設けて見学・鑑賞に行ってみたい（京都・奈良のいろいろ、維新がつぶした文化・芸術・音楽、文楽、繁昌亭…）
- ・学生が忙しい（アルバイトに追われている、授業が過密、19:30 までの授業時間割）
- ・なぜ今どんどん木が切られているのか、木を切るな運動の取り組みも？
- ・大阪の言葉（ヨシモト言葉ではない）には地域によってお3種類あるらしい（摂津、河内、堺）。上方落語（桂米朝さん）のはんなりした言葉は船場の言葉だとか。
- ・PFAS の問題性、科学を母親目線でとらえられるように伝えたい
- …などなど、おしゃべりはつきませんが、続きは次回にということで。